

リサイクル計画書（詳細設計）

業務成果として、設計業務の受注者が作成し報告書に添付

1. 設計概要

発注機関名	千葉市
委託名	南部浄化センター機械・電気設備改築実施設計業務委託（8-1）
履行場所	千葉市中央区村田町893番地内
設計概要等	改築実施設計 一式
工事着手予定時期	

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量	② 現場内利用 可能量	③ 再生材利用 可能量	④ 新材利用 可能量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①×100	備 考
土 砂	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦ 現場内利用 可能量	⑧ 他工事への 搬出可能量	⑨ 再資源化施設 への搬出可能量	⑩ 最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥×100)	備 考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
	第2種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
	第3種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
	第4種 建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
	泥土（浚渫土）	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
	合 計	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	トン	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）

①第1種建設発生土；砂、礫及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土；粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

②第2種建設発生土；砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

⑤泥土（浚渫土）；浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。

③第3種建設発生土；通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

※ 利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

※ 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。